

釜石労働基準監督署からのお知らせ

令和5年
3月

1 釜石支部主要企業訪問

取材協力：公益財団法人岩手労働基準協会釜石支部

2月6日に株式会社山元様を訪問しました。

株式会社山元



現場安全パトロールの工夫

月2回、必ず経営者による全現場の安全パトロールを実施し、改善指示書の発行、改善報告書の提出を確実にしています。

月2回のうち1回は、総務課の職員など内勤の女性従業員が同行し、異なる視点からの巡視・指摘もするようにし、毎月「女性目線：現場の様子」の広報誌を作成しています。普段、請求書で目になっている物を直にみられて、災害防止以外の二次的効果もあると説明していました。

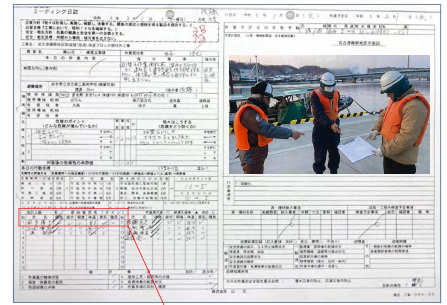


安全パトロール時に撮影した写真を活用して、半年に1回ずつ、好事例や作業ルールなどをまとめた「目で見える労働災害防止対策資料」を作成しています。現場では、作業員に対する安全教育の資料としても活用しています。



現場 KY 活動の本社の共有

現場で毎朝実施しているKY活動の結果を当日の午前中のうちにKYシート、確認している写真を撮影し、本社にメールで送付しています。本社では全現場から集まる報告により、作業員の出勤状況や作業割の変更の状況などを把握し必要な指導に結び付けています。



名	参加者氏名 (サイン)
睡眠	
疲労	
朝食	
体温	
酒気	
職長	

KYシートには、作業員の体調管理や把握をするため、睡眠、疲労、朝食、体温、酒気を記入させ管理しています。これは熱中予防対策にもつながっています。

カードリーダーを多数購入し、本社、全現場に配置して、全従業員の出勤時間、退勤時間をリアルタイムで、本社で把握できるシステムを構築しています。



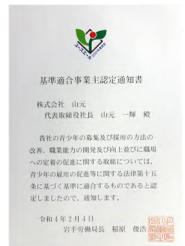
現場での災害防止活動

冬季の転倒災害の防止対策として、現場に複数箇所融雪剤を配置し、保管場所の表示を行い、平面図にも落とし込んで作業員に周知しています。



ユースエール認定企業の取得

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な企業を厚生労働大臣が認定している「ユースエール認定企業」を令和4年2月に取得しました。



2 労働災害発生状況

【令和4年労働災害（1月末現在）】

1 2 2 件（コロナ除き 92 件）(前年同期 8 7 件（同 86 件）)
死亡災害 3 件（同 0 件）

【令和5年労働災害（1月末現在）】

1 件（前年同期 1 0 件）
死亡災害 0 件（同 0 件）

【1月報告の労働災害】

クレーン機能付きドラグ・ショベルでコンプレッサーを吊り上げ移動させる際、バケットの上に置き忘れた鉄棒（6.8 kg）が落下（3.2m）し、コンプレッサーを支えていた被災者の左手に直撃し人差し指を骨折した。クレーンの作業半径に作業員を立ち入らせずに介添えロープ等を使用すること。

